



『ナカスイ! 海なし県の水産高校』

村崎 なぎこ/著
祥伝社

平凡な自分から脱却したいさくらは、人生を変えるため栃木にある水産高校に進学した。学年に女子は3人。魚に詳しい級友たちに圧倒されてくじけそうになるが、清流でとれるカニやシジミなど今まで知らなかった食材を知り、街や高校を楽しめるようになっていく。そんな中、「ご当地おいしい! 甲子園」に出場することになり、さくらは青春の思い出を残すために奮闘する。

図書館おすすめブックリスト

2025年8月発行

編集・発行 砺波市立図書館



ココロふるえる本との出会いで フル充電!!

No.30 中高生向け

『テヘランのすてきな女』

金井 真紀/文と絵
晶文社



イスラムの国イランで生きる女性たちのインタビューとスケッチ集。「反スカーフ運動」後、チャドルをやめた主婦や風紀委員の女性。入浴施設でくつろぎ、男子禁制の公園でエクササイズする人々。そこから見えてくるのは、イランの社会制度のもとで、かっこよく生きている女性たちの姿だった。

どの女性も、精一杯自分らしさを守りながら、たくましく生きているのが胸を打つ。

『アウシュヴィッツの小さな厩番』

ヘンリー・オースター/著 デクスター・フォード/著
大沢 章子/訳
新潮社



ユダヤ人の少年ハインツの日常は、ホロコーストと呼ばれる迫害によって奪われます。帰る場所や家族を失い、自らの命すら危うい日々の中、与えられたのはあの悪名高きアウシュヴィッツでの厩番の仕事でした。

史実を基にしたノンフィクション作品です。生き残るための厳しさと哀しさが鮮烈に伝わってきます。彼が残した「寛容」の意味を、考えてみませんか。

『全校生徒ラジオ』

有沢 佳映/著
講談社



田舎の女子中学生4人が、思い出作りにトークの配信を始めた! 「全校生徒ラジオ」と名付けられたこの配信をたまたま聴いたリスナーの「オレ」は、止めどない会話で盛り上がる番組の“文字起こし”をする事で、不登校である自分と向き合うが…。

女子たちのワチャワチャした「内輪ネタ」と、どんどん増えていくリスナーとのやりとりが、とにかく面白い青春会話劇!



『介護の花子さん』

あさば みゆき/著
Gakken

就職が決まらないまま大学を卒業した花は、初めて内定を得た高齢者向け住宅の介護スタッフとして勤めることになる。何に対してもほどほどでよいと思ってきた花は、他のスタッフや入居者から厳しい意見を言われ辞めたくてたまらないが…。

明るく人懐っこい花が、トラブルと失敗を繰り返しながら、成長していく姿に勇気をもらえる。



『6days遭難者たち』

安田 夏菜/著
講談社

女子高生3人の6日間の遭難物語。美玖は祖父との約束を果たせなかった後悔から、亜里沙は母の癌の再発を恐れ、由真は母の再婚による孤独感から、それぞれの思いを抱えて山に登る。3人とも登山経験がほぼない中、「ゆる登山」と油断して下山計画を変えたため、道を見失ってしまう。

軽装備で野宿を始める3人に、次々に試練が訪れる。

『ピーチとチョコレート』

福木 はる/著
講談社

中学2年生の萌々は太めの体型を気にしながらも、空気を読んで明るいキャラで乗り切っていました。見た目をからかわれて落ち込んでいた翌日、ヒップホップ・ラップ教室を指導するMaiから「人生、変わるよ」と教室に誘われます。居場所を見つけた萌々は、自分の心に正直に生きたいと思い…。

新しい自分への一步を踏み出してみようと思える、熱い言葉に溢れた小説です。



『わたし、サイエンスエンターテイナーになる！』 五十嵐 美樹/著 WAVE 出版

子供のころからダンスが好きだった著者。中学時代に科学の実験に魅せられて、科学実験にエンターテインメントの要素を融合した「サイエンスエンターテイナー」という職業に就く。

ダンスでバターが作れる！？など日常にある科学の面白さ・楽しさに加えて、好きを仕事にするために努力する著者だからこそ語れる「進路の考え方」についても学ぶことができる。



『もしも明日、ぼくの足がなくなったら』

舟崎 泉美/著
Gakken

様々な理由で突然足を失った5人が、絶望やつらい痛みから現実を受け止めるまでと、体に合った義足や車いすに巡り合えるまでの長い道のりが丁寧に描かれています。義足はひざ上、ひざ下など患部により造りが全く異なるそうです。大切なのは周囲の人間が義足について正しい知識を持ち、その人のことを理解することだと考えさせられます。



『僕たちの青春はちょっとだけ特別』

雨井 湖音/著
東京創元社

コミュニケーションが苦手と誰とも関わらない中学時代を過ごした架月は、明星高等支援学校に進学したことで日常が変化。いろいろな特性を持つクラスメイトや先輩たちが巻き起こす事件の謎を解こうとするうちに、架月は初めて友人たちと対等な関係を築いていく。

高等支援学校に通う彼らが、戸惑いながらも新しい自分を見つけていく、ちょっとだけ特別な青春ミステリです。